



にかほ

2.1 2014 vol.35

# 市議会だより



冬休みが終り、吹雪の中、白い息をはずませ子供たちは元気に登校

## 12月定例会

会派代表質問	2～5
一般質問	6～9
平成25年度補正予算・議案一覧	10～11
質議・討論	12
委員会審査報告	13～14
政務活動費報告	15
議会報告会	16～17
議会活動報告・編集後記	18

10月27日に実施されたにかほ市長選挙で当選した横山忠長市長が、3期目の市政運営に就くにあたり、12月定例会初日で今後の市政基本方針を述べました。これに対し、にかほ市議会各会派は、会派代表質問を行い、その趣旨を質しました。

各会派の質問持ち時間は、「基本時間15分+会派の構成員数×5分」となっています。

- 同好の会 響(齋藤修市議員)
- ◇「福祉のまち」について
- ◇「市民が躍動するまち」について
- ◇平成26年度の予算編成方針について

- 市民クラブ (鈴木敏男議員)
- ◇3期目の市政への取り組みについて
- ◇1次産業の振興と雇用創出について
- ◇安全・安心なまちづくりについて
- ◇観光誘客を図るために寝台特急列車「あけぼの」の存続運動を

- 政研クラブ (菊地 衛議員)
- ◇コールセンターの業務開始について
- ◇象潟老人福祉センターについて
- ◇スポーツ施設の整備について
- ◇市道の整備について
- ◇学習サポートについて

創明会 (加藤照美議員)

- ◇公約の1つ目「福祉のまち」について
- ◇公約の2つ目「市民が躍動するまち」について
- ◇公約の3つ目「災害に強い安全なまち」について
- ◇公約の4つ目「安心して暮らせるまち」について
- ◇公約の6つ目「自然と文化を育むまち」について

- 一心会 (竹内睦夫議員)
- ◇雇用の創出について
- ◇市民が躍動するまちづくりについて
- ◇防災対策について

- 日本共産党 (村上次郎議員)
- ◇日本経済の見方について
- ◇「市民が躍動するまち」について
- ◇医療費無料化を中学生までの拡大について
- ◇財政の国の支援策について

## 会派代表質問

### 同好の会 響



齋藤 修市

#### 「福祉のまち」について

質問 地域福祉施設整備とありますが、象潟、金浦、仁賀保と旧3町地区に、市が管理する福祉施設があります。地域ごとに代表的な施設を整備するのか、それとも総合的な施設を考えておられるのか伺います。

市長 象潟老人福祉センターは、老朽化が著しく、これまで市当局並びに議会に対して象潟地区町内会長会や、あるいは自治会長会などから老人福祉センターの改修について陳情書が提出されている状況でございます。整備に当たっては、象潟公民館に必要な機能を増築して、双方の施設を利用した象潟地区の福祉施設として整備をしたいと考えております。

#### 「市民が躍動するまち」について

質問 技術研究する部門等々の設立等、企業や大学などと連携して将来構想の中にあればよいと考えますが、市長の見解を伺います。

市長 新たな製品開発に取り組む企業などについては、国・県の施策と連動しながら市として支援を検討してまいりたいと思っております。研究所の設置に

ついては、理解を示すところではございますが、にかほ市のよくな規模の小さいところでは、なかなか難しいと考えております。したがって、企業が抱える技術的な課題等については、私も行政が中に入って、秋田大学とか、県立大学への橋渡しをしてまいりたいと考えているところでございます。

#### 平成26年度の予算編成方針について

質問 財政事情によつては基本計画の見直し、または公約の見直しも勇気ある決断だこのように思いますが、市長の見解を伺います。

市長 国から地方に対する予算の配分は不透明であります。しかし、国の財政状況を考えますと、歳出特別枠や別加算は見直しされると考えております。これとあわせて4月から消費税8%となりませんが、地方の財源である地方消費税交付金は増えることとなりますが、その一方で、地方交付税の基準財政収入額が増えますので、その分については交付税は減ることになります。こうした税制改正も含めた形で行政運営、予算執行を考えていかなければならないと考えているところでございます。

合併算定替えからの移行も含めて、国の動向を注視しながら財政環境が大きく変わるような厳しい状況に変わるようであれば、現在計画している基本計画の中にある事務事業についても、あるいは今回掲げた公約についても、再度検討する必要があります。と考えております。

## 市民クラブ



鈴木 敏男

### 三期目の市政への

#### 取り組みについて

質問 市長選で見えたことはどのようなことで、対応策をどのように考えているのか伺います。

市長 選挙で見えた課題ではありますが、これまでの事業などに対する情報提供が不足していたという点であります。このことが地域イズムとか、地域格差があるなどとの誤解が出てきたのではないかと思っております。今後、市広報紙を積極的に活用しながら、自治会などが主催する行政懇談会の場などを通して情報提供し、施策に対する理解を求めると同時に、市民の声を真摯に受け止めながら、施策に反映できるものは反映させてまいります。

### 一次産業の振興と

#### 雇用創出について

質問 六次産業化は、雇用の創出と、観光面でも波及効果が期待されますが、見解を伺います。

市長 企業誘致はもちろんですが、地元中小企業や農林漁業に

振興策を講じながら雇用の拡大に繋げてまいります。

一次産業の六次産業化につきましても、国が示している規模拡大をしていくことも一つの方法だと思いますが、議員がお話しのように村づくり、生きがいづくりに繋がっていくのかなと思っております。農家の皆様には、農業を取り巻く環境が大きく変わること主体的に受け止めていただき、今後どのような方策を探っていくのか検討していただき、その上で、意欲のある農家や集落営農組織に対しては、国、県の施策と連動しながら積極的に支援をしてまいります。

今回、私が公約に掲げたにかほ市を一大「イチジク産地」にしたいという考えについては、今後、関係者と協議しながら、多様な品種を作付て、生もの加工などの取り組みと体制を構築していきたいと考えております。



▲大竹の無花果栽培地(撮影:1月)

## 会派代表質問

## 政策研究クラブ



菊地 衛

### コールセンターの

#### 業務開始について

質問 コールセンターの本格的な業務スタートにあたり、緊急雇用事業で採用された104人中、75人を採用、うち正社員30人との報告でした。市に対して、会社側からどのような説明があったのか伺います。

商工課長 緊急雇用事業は、当初104人で事業を開始しましたが、途中退職あるいは追加採用などを終えて、最終的に11月末で90人の従業員となっております。90人に対して社長が全社員と面接を行い、75人を採用しております。

内訳は、正社員30人、契約社員44人、パート1人という内容です。継続雇用をしないと通告した6名以外は、継続雇用の意向であり、面接した結果、想定外の結果との説明を受けています。コールセンター業界の雇用形態は、通常、非正規割合が8割以上と高い水準になっており、正社員と契約社員がともに同じ給料であることなどから、会社側の対応は一定の評価ができるかと考えております。

## スポーツ施設の整備について

質問 高校、大学などのスポーツ合宿誘致の具体的手法、手順について伺います。

市長 現在の施設を活用しながら交流人口を拡大し、地域経済に波及効果を与えたいと考えています。合宿誘致については、金浦の総合スポーツセンターを活用しながらTDKと連携して取り組みを進めたいと考えています。現在使用されていない宿泊施設を、市が借り受けて40人規模の合宿施設にしたいと考えています。

一方で、使用されていないテニスコートがあります。この場所にTDKが屋内運動施設を建設するという計画もあります。なお、この事業は、合併協議で約束した体育施設の整備とは関係ありません。ご理解をいただきたいと思っております。



▲TDK総合スポーツセンター

# 創明会



加藤 照美

## 公約の二つ目「市民が

### 躍動するまち」について

質問 仁賀保高原、由利原は「美しい、日本の歩きたくなる道」五〇〇選に認定されていますが今回は認定されませんでした。その理由と今後の取り組みについて伺います。

また、スポーツ施設の積立金との関係を伺います。

市長 今回、ウォーキング協会ではコースの見直しを行い、最寄りの駅から交通の便が悪い一部のコースを変更したもので選定外となったものです。

施設整備のための基金造成をしたいと言う考え方でおり、整備費の一部に充てるために平成26年度に条例制定したいと考えております。

## 公約三つ目「災害に強い

### 安全なまち」について

質問 火山防災マップの見直しの必要性はないか伺います。

また、形成上必要とする道路とは何を根拠としているのか。重要路線はどこを指すのか伺います。

市長 平成26年度に減災計画を策定する予定で検討を進めています。その後、被害想定範囲

などに変更があればマップの見直しが必要になると考えております。

幹線道路網の整備は消防署を中心とした放射線状に完成したことにより、交通の円滑化、利用者の利便性が図られています。

順番として、前川象潟2号線、それから平沢小出2号線、そして大竹象潟線と考えています。

## 公約四つ目「安心して

### 暮らせるまち」について

質問 高齢者の安否確認など見回りネットワークの体制を強化するとあるがこれまでとの違いについて伺います。

市長 隣近所において高齢者をよく見ていただいで、異常があれば連絡していただくような体制ができないかという取り組みの一つ。また、老人クラブなどの方々に活動できないかとそうしたことも考えております。

## 公約六つ目「自然と

### 文化を育むまち」について

質問 平成26年度の国民文化祭の開催を契機に、伝統芸能の拠点施設の検討は考えていないか伺います。

市長 市内外の団体との交流による親睦と相互に刺激合うことで活性化にもなり、後継者の育成にもつながるものと思えますので、これからは文化保存伝承館を拠点にして努めてまいりたいと考えております。

# 会派代表質問

# 一心会



竹内 睦夫

## 雇用の創出について

質問 ①雇用の増大の図り方、②誘致する産業に対しどんな形で実現に努めていくのか。③新たな分野に対しどんな計画で要請していくのか伺います。

市長 いかに関係を収集し、誘致活動を展開していくかには空き工場もあるのでこれを戦力にして誘致活動を進めたいと思います。

既存企業においては農業分野への参入が図られており、また、魚を加工したいという動きもあり、ぜひ実現し雇用の拡大につなげていきたいと思っております。

## 市民が躍動する

### まちづくりについて

質問 ①新たな産業、雇用の拡大、若者の地元定着等どのように取り組んでどのような効果があったか。②7項目それぞれどのような将来のまちづくりをもつて計画しようとしているのか伺います。

市長 就業する場があるかないかだと私は思います。これからのいろいろな施策を講じて参りたいと思っております。総合発展計画の後期計画に揚

げる施策にのっとったもので毎年見直しをかけ、以後の施策に反映して参りたいと考えています。

## 防災対策について

質問 ①超重大事のような事態時の対応策をもっているのか。②津波対策、海岸浸食に自然石を活用してはどうか。③震災時の関連職員の初期出動対応策及び要する時刻別は、どのような形で瞬時に機能できるのか伺います。

市長 何よりも市民の意識が大切であります。出前講座などで市民意識の高揚に努めて参りたいと思えます。

自然石活用については、県が事業主体となるので県のほうに伝えていきたいと思っております。

消防署員、団長、副団長3名、幹部4名は震度4で本部に自主参集します。消防本部では年3回ぐらい署員の参集時間の把握を行っております。



▲にかほ市出前講座

# 日本共産党



村上 次郎

## 日本経済の見方について

質問 現在の日本経済について市長の見解を伺います。

市長 一年前から見れば、円安になり株価も高くなつて大企業を中心ですが収益性は高まっているかと思ひます。地方にはまだまだ波及効果は来ませんが、来年の春闘でどういう形で賃金ベースに反映されていくのか、この辺をよく見ていかなければならないと思ひます。

## 「市民が躍動するまち」について

質問 企業誘致による雇用の確保は大事ですが、離職者を出さない対策も必要と思ひます。

市長 観光に大事な働きをする宿泊施設や商店のリニューアルなどへの支援も取り上げられるべきと思ひます。住宅リフォーム事業は特に継続すべきと思ひます。が、考えを伺ひます。

市長 例えば、商店のリニューアルは住宅リフォームを単独で拡げる方法しかないと思ひますが、その辺を検討させていただきたいと思ひます。住宅リフォームは平成26年度も県がどうであれやりますという話をさ

せてもらつています。

## 医療費無料化を中学生までの拡大について

質問 昨年3月の私の質問に3年間を検討期間とし、その時点では考えていないとのことでしたが、どのような検討から公約が生まれたのか、またその内容についても伺ひます。

市長 幼児・小学生・中学生の医療費を調べました。中学生の医療費は大体1、500万円ぐらゐで変動なく推移しているの、市としてはそんなに負担をかけずに実施できると判断し、厳しい雇用情勢で離職している親御さんもありますので、平成26年度から所得制限無しで無料化を実施したいと考えています。

## 財政の国の支援策について

質問 国の合併算定替え終了後の新たな支援について要望しているようですが、取り組みについて伺ひます。

市長 10月に発足した財政対策連絡協議会に加え、総務省の副大臣・幹部に要望活動し、加盟自治体の財政需要調査を取りまとめ、財政支援措置を実現する議会連盟及び総務省に説明しているところ、秋田県市長会でも県知事や県選出の国会議員に対して終了後の地方交付税見直しについて要望活動を展開しています。自治財政局長から早期に具体的制度設計をしたいという回答を得ています。

# 会派代表質問

## 秋田県地方自治

### 功労者表彰

11月11日に秋田県庁で開催された「平成25年度秋田県文化功労者表彰及び秋田県地方自治功労者表彰式典」において、当市議会議員の竹内睦夫議員、菊地衛議員の両氏が表彰を受けました。

これは、永年にわたる地方自治に対する両氏の功績が認められたものです。

表彰内容は次のとおり。  
市議会議員在職年数20年  
(市議会議員8年1ヵ月、町議会議員18年1ヵ月)



▲(左から)竹内睦夫議員、菊地 衛議員

## 市民に信頼される

### 議会改革を!

11月11日、象潟公民館に福島大学行政政策学類教授 今井照(あきら)氏を招き、当市議会議員研修会を開催いたしました。

この研修会は、毎年度一回実施しているもので、今回は「自治体議会改革と議員のあり方」をテーマに、議員の資質向上、市民から求められる議員のあり方と姿勢などをお話しいただき、他自治体の取組みなどを交えながら活発な意見交換も行いました。

当市議会は、市民に信頼される開かれた議会とするため、平成23年9月に議会基本条例を制定し議会活動を行ってまいりました。

今後、引き続き、議員自ら一層の改革を進め、市民の皆様のための議会活動を充実してまいります。



▲議員自ら議会改革を目指し勉強

一般質問は12月11日と12月12日の2日間にわたり行われ、6名の議員が市政全般について、当局の所信や見解をいただきました。

佐々木正明（二問一答）

◇市長選と今後の市政方針について

◇投票区の見直しについて

◇「家潟及び汐越」の国の名勝指定について

市川雄次（一括質問）

◇10月27日に執行された市長選について

佐々木弘志（一括質問）

◇市道工事発注者としての安全管理の指導について

◇県道、市道の舗装修理工事の状況と今後の工事予定について

◇避難路・避難場所の進捗状況について

村上次郎（二問一答）

◇準要保護世帯へクラブ活動費、生徒会費、PTA会費も支給を

◇国保税の引き上げは避けるべき

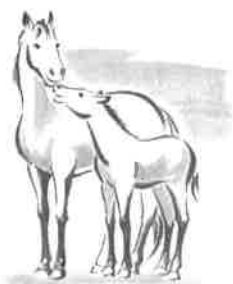
◇地域要望の実現に全体計画を

伊東温子（二問一答）

◇湧水の保全について

奥山収三（二問一答）

◇にかほ市の観光資源の保全について



## 12月定例会一般質問

### 市長選挙、今後の施政方針について



佐々木正明  
議員

質問 三選されて決意も新たに、公約されたことや選挙戦を通して市民の声を聞いて考えさせられたこともあると思います。選挙戦の争点と課題について伺います。

市長 相手候補者と目指すまちづくりの方向性、掲げる公約についても一部を除けばそんなに大きな違いはなかったと考えっております。

相手候補は合併協議の約束である総合体育施設の早期整備と旧町単位での投資額に差があると主張してました。市民に公平な行政サービスを提供するために、それぞれの地域で緊急を要する改修や整備等については地域性に拘らず重点的に進めて来ましたが、その考え方はこれからも変わりません。

課題については、私も行政はこれから取り組む事業については市民に説明しますが、これまでやってきた事業の効果についてはPR不足だった

と感じたところです。今後しっかり成果を説明していきたいと考えております。

#### 投票区の見直しについて

質問 7月の参議院選挙、今回の市長選挙の投票率が下がりました。投票区の再編の影響と思われます。市民の声が反映されるように見直すべきだと思います。考えを伺います。

選挙管理委員会委員長 参議院選挙は県内の市の中で一番高い投票率です。平成25年1月から現在まで行われた7市長選挙でも一番高いものです。また、投票率は年齢が低くなるにつれて下がっています。全国的な傾向ですが、若い世代の選挙に対する関心の低さが全体の投票率を下げた要因と思われます。

投票区は3年前から行政改革大綱の理念に基づき、説明会や自治会長との会合を何度も重ねて環境の整備に努めて来ましたが、現在のところ見直しは考えておりません。

質問 無料バスの利用者は7人でした。もっと利用しやすいやり方、コスト削減より市民の声が反映される施策が必要だと思いますが、その点について伺います。

選挙管理委員会委員長 これから何回か選挙を重ねて不便な投票所があれば再編の見直しを考えながら投票率の向上に努めていきたいと考えております。



市川 雄次 議員

## 10月27日執行された市長選について

質問 投票所の削減が投票率の低下を招いたのではないかと。

今回の再編の基準と効果、住民への説明、選挙結果をどのように分析され、投票率をどのように判断されたか伺います。

選挙管理委員会委員長 にかほ 市行政改革大綱の理念に基づき、市内41力所の投票区、投票所を検討し再編したもので、市内小学校区を基準に三千人以上は分割との国の基準に基づき、にかほ市では一千を目安に投票所までの距離を3キロメートルとし、市内全体のバランスと公平性を図ったものです。

住民への説明は、3地区合同の行政懇談会や広報等、何度も説明会を開催し、各自治会からも意見の集約をして決定したものです。今後も選挙ごとに分析し、見直すべきところは見直しをして、投票率の向上に努めてまいります。

市長 選挙管理委員会の決定したことについては尊重をしていかなければならないと考えております。

質問 今回の選挙の争点は何だったのか。市長は当選後の新聞インタビューで、相手候補に投じた人達の声にも耳を傾ける趣旨の発言をされておりますが、何をどのように捉え、対処しようとするかを述べているのか伺います。

市長 相手候補とは、公約やまちづくりの方向性は、総合体育館の整備を除けば大きな違いはなかったと考えておりますが、全く根拠のない数値を用いて、地域に格差があるということについては、市民に大きな誤解としこりを残してしまったのではないかと危惧しているところがあります。

例えば、金浦地区は水源の量が少なく、他地区に比べて水道水がおいしくありませんでしたが、公平な行政サービスを提供するために改善したことなど、行政懇談会などでPRし、これまで取り組んできた成果を説明していきたいと感じております。

# 12月定例会一般質問

## 市道工事発注者としての安全管理の指導について



佐々木 弘志 議員

質問 火山灰を多く含む柔らかい地層上の市道、県道はどのくらい存在し、工事発注も含めて市道工事の安全管理、安全対策についてどのように指導しているのか伺います。

産業建設部長 にかほ市の地質構造は、全体が鳥海火山噴出物及び泥流堆積物などからなっており、県道、市道のほぼ全線が火山灰を含む地質上に道路が形成されていると推察され、正確な数値は把握しておりませんが、市道工事の安全対策については、由利本荘市の崩落事故を受けて、各関係機関に注意喚起をするとともに、今後も施工管理計画のチェックや、監督職員には、工事現場の安全管理の指導をさせ、労働災害防止に全力的に取り組んでおります。

質問 金浦地域において、合併後の市道や県道の工事状況と今後の予定について伺います。

合併後の大規模な舗装工事はないとのことで、穴埋めなどの補修で対応しております。市道は5件の舗装工事を実施しており、今後も優先順位をつけながら路面状況を見極めながら補修してまいります。

また、金浦漁港道路のカーブ付近の縦断の亀裂は、埋め立て箇所の下と、埋め立てしない固い部分との違いによるもので、崩壊などの危険はないと考えております。

質問 避難路、避難場所の進捗状況と、避難場所として指定されている金浦の中央公園をウォーキングやジョギングコースとして整備してはどうか伺います。

総務部長 津波避難路整備は全部で20箇所あり、工事が完了しているのは14箇所、残り6箇所は今年度中に完成予定となっております。

金浦中央公園は、防災担当の立場としては、公園としての整備計画は持っておりません。



▲金浦中央公園避難路



村上 次郎 議員

## 準要保護世帯へクラブ活動費、生徒会費、PTA会費も支給を

質問 本年度の準要保護世帯数はどうなっていますか。また、世帯が減っているというようなことはないか伺います。

教育長 平成25年度の市の準要保護世帯数は80世帯です。平成24年度も80世帯、平成23年度は81世帯となっております。ほぼ同数になっていきますから、生活保護基準の引き下げによる影響はほとんどないと考えております。

質問 3月議会での答弁では、クラブ、生徒会費、PTA会費については研究したいと言っておりましたが、その結果、検討したかどうかを伺います。

教育長 この3項目については、県内のほとんどの自治体で支給していない状況です。他市町村の動向や、情報を見ながら検討していきたいと考えております。

## 国保税の引き上げは避けるべき

質問 滞納状況について伺います。

市長 平成25年度は、534世帯で1億6,585万円で、3カ年で見ると、滞納世帯、金額についても若干ずつ減少している傾向です。

また、現下の厳しい社会情勢の中、現実に納税が困難な方については納税相談を受けながら、関係法令の規定により滞納処分の執行停止を行うなど適正に処理しております。

質問 地域要望の実現に全体計画を立てながら進められないか伺います。

総務部長 予算との絡みもあり、自由に要望を受け付けるわけにもいきません。ある程度の制限をかけ、優先順位、年次計画に取り組みたいと思います。これとは別に緊急的なものについては、随時受け付けをする対応をしております。



# 12月定例会一般質問

## 湧水の保全について



伊東 温子 議員

質問 湧水の現況把握は行われていますか伺います。

ガス水道局長 上水道関係では、伏流水、表流水、湧水、地下水の四つに分類されて、一日最大給水量2万2,920m<sup>3</sup>のうち、4,280m<sup>3</sup>が湧水に分類されております。

市民福祉部長 簡易水道の場合は、湧水と地下水です。一日最大給水量は、1,214m<sup>3</sup>で、うち602m<sup>3</sup>が湧水となっております。

質問 その他の湧水の現況把握はされていますか伺います。

産業建設部長 獅子ヶ鼻湿原の出っぱや元滝伏流水については把握しておりますが、観光スポット以外については把握しておりません。

質問 湧水の保全対策を

考えていますか伺います。市長 水源の保護対策としては、にかほ市水道水源保護条例を制定しております。

ガス水道局長 上水道関連における保全対策につきましては、これらの湧水水源とその他簡易水道水源を含めて、平成19年4月10日制定された、にかほ市水道水源保護条例により、水道水源保護区域として指定されております。



▲上浜簡易水道(小砂川地区)の清水場水源(湧水)





奥山 収三 議員

## にかほ市の観光資源の保全について

質問 自然や天然記念物等の観光資源、観光地の保全について市の基本的な考えを伺います。市長 自然、天然記念物も含めた観光資源、観光地の保全については、守ることに、見せることを両立してバランスよく管理していくことが望ましいと考えております。

質問 中島台を訪れる方々が木道から樹林帯のほうへ外れて歩くことのないように、特に立ち入ってほしくない部分にロープを設置するべきと思われますが、その考えが無いか伺います。

産業建設部長 散策コースを調査した上で、必要な箇所にはロープを設置するなど、木道以外の場所に立ち入らないようの方策を講じてまいりたいと思えます。

質問 出つぼのブナの枝は、取り除くべきではないか伺います。

教育次長 2月にまた委員会を開催する予定でございます。その時には、倒木について処分の方法、協議、最善の策を講じていきたいと思えます。

### 九十九島の景観保全と

#### 整備について

質問 魅力ある観光地の再建・強化事業で「ふるさと」の温もり

ほっと！島めぐり」が選定され、ANA総合研究所が受注することが決定した旨報告されましたが、その後の進展はどのようになっていますか伺います。産業建設部長 観光地の事業としまして実施しております官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業では、ANA総合研究所から助言、指導をいただきながら10月に実施しましたモニターツアーを終えたところであります。本市の知名度向上を含め、新規ポスターの作成、掲示、夏・秋の季刊誌の作成、発行などによる宣伝、告知を行っています。また、告知を行ってまいりました。

質問 景観保全が目的の各種事業には国の半額補助があるという点です。主要な島については年二、三回ぐらいの草刈り、除草を行い、常に美しい島々の景観を維持することが観光サービスと考えます。市の考えを伺います。

教育次長 象潟及び汐越の名勝指定になることにより、保全事業というものが、200万円以上の事業費であれば国の50%補助制度があります。この制度の中で景観保全として下刈りが対象になるか、道路の維持修繕なども含め、国・県と協議し進めていきたいと思えます。

# 委員会視察研修報告

## 議会運営委員会

7月9日に宮城県大崎市議会の「災害対策連絡会規程」と、東日本大震災時の議会の対応について研修しました。

大崎市は内陸部にありますが、震災時には多くの被害があり、これを教訓として、議会としての対応について定めたものです。内容は、議員間の相互協力体制と市本部との連携等により、情報収集、議員間の連絡調整及び市本部に対する情報提供を行うものであり、具体的な事例を含めて意見交換をしました。

議会運営委員会  
副委員長 村上 次郎



▲議会運営委員会視察報告

## 広報広聴委員会

議会広報広聴委員会は10月15・16日に岩手県久慈市と岩泉町の議会広報広聴活動を研修視察しました。

岩泉町の議会だよりは全国・県のコンクールで多数の賞を受賞している実力誌です。「まちの笑顔」でつくる表紙と終面はカラーページ、記事は二色刷りで大胆なレイアウトと大きな見出しで議会の内容が一目瞭然です。

久慈市では議会事務局公式ツイッターを運用しています。議会だよりや広報活動は技術的な優劣は勿論ですが、市民との連携、提言等を追跡・検証していく議会の根本的な姿勢が問われるのだということを再認識した研修となりました。

議会広報広聴委員会  
副委員長 伊東 温子



▲広報広聴委員会視察

# 平成25年度補正予算を可決！！

一般会計は3億1千508万2千円の増額

第6回12月定例会は、12月9日から20日までの12日間にわたり開かれ、平成25年度一般会計補正予算（第6号）をはじめ、議案22件、議員提案7件が提出されました。

それぞれの議案については、各常任委員会、特別委員会の審査を経て、最終日の本会議において全て原案のとおり可決されました。

また、教育委員会委員の任命2件については、大久保敬一氏（再）、齋藤光正氏（新）両名について同意しました。（投票結果は、大久保敬一氏：賛成12票、反対6票、齋藤光正氏：賛成13票、反対5票でした。）

そのほか、任期満了による選挙管理委員及び補充員選挙が行われ、議長指名推薦の上、当選人が決定いたしました。

## 一般会計補正予算（主なもの）

### 歳入

- ▼自立支援給付費負担金  
4、244万円
- ▼地域の元気臨時交付金  
2億530万円
- ▼青年就農給付金事業交付金  
300万円
- ▼森林整備加速化・林業再生  
事業費補助金 450万円
- ▼緊急雇用創出臨時対策基金  
事業費補助金 497万円

### 歳出

- ▼仁賀保庁舎耐震改修工事等  
設計委託料 700万円
- ▼過年度過誤納金還付金  
2、277万円
- ▼灯油購入費等緊急助成費  
1、700万円
- ▼住宅用太陽光発電システム  
導入事業費補助金192万円
- ▼コールセンター等企業立地  
促進事業補助金 625万円

## 平成25年度一般会計・特別会計補正予算

（単位：千円）

会計別		既定額	今回補正額	合計
一般会計		14,400,998	315,082	14,716,080
特別会計	国民健康保険事業特別会計事業勘定	3,205,047	186,049	3,391,096
	国民健康保険事業特別会計施設勘定	92,055	1,169	93,224
	簡易水道特別会計	105,178	△3,965	101,213
	公共下水道事業特別会計	1,223,757	11,780	1,235,537
	農業集落排水事業特別会計	412,391	2,859	415,250
	計	5,038,428	197,892	5,236,320
合計		19,439,426	512,974	19,952,400

### 12月定例会に上程された議案

議案番号	件名	議決の結果
議案第94号	教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第95号	教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第96号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意
議案第97号	にかほ市税条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第98号	にかほ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第99号	にかほ市諸収入金に係る督促手数料及び延滞金の徴収に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第100号	にかほ市貸付金の返還債務の免除に関する条例制定について	可決
議案第101号	にかほ市地域の元気臨時交付金基金条例制定について	可決
議案第102号	にかほ市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決

議案番号	件名	議決の結果
議案第103号	にかほ市下水道事業受益者負担金条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第104号	にかほ市簡易水道等事業設置条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第105号	にかほ市農業集落排水施設等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第106号	にかほ市下水道条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第107号	にかほ市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第108号	にかほ市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第109号	市道路線の認定、変更及び廃止について	可決
議案第110号	平成25年度にかほ市一般会計補正予算（第6号）について	可決
議案第111号	平成25年度にかほ市国民健康保険事業特別会計事業勘定補正予算（第2号）について	可決
議案第112号	平成25年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定補正予算（第3号）について	可決
議案第113号	平成25年度にかほ市簡易水道特別会計補正予算（第3号）について	可決
議案第114号	平成25年度にかほ市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	可決
議案第115号	平成25年度にかほ市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	可決
議提第12号	現行法（原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律）の改正を求める意見書	可決
議提第13号	2014年度地方財政の確立に関する意見書	可決
議提第14号	医療・介護など社会保障の充実を国に求める意見書	可決
議提第15号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書	可決
議提第16号	介護職員の処遇改善を求める意見書	可決
議提第17号	日本国憲法をいかし安定した雇用の実現を求める意見書	可決
議提第18号	T P P 交渉に関する意見書	可決

## 選挙管理委員選挙について

### 当選人となったにかほ市選挙管理委員会委員

岩井敏一	にかほ市院内
佐々木耕治	にかほ市金浦
澁谷美奈子	にかほ市畑
池田優子	にかほ市象潟町字4丁目塩越

### 当選人となったにかほ市選挙管理委員会補充員

第1順位 齋藤兄一	にかほ市象潟町横岡
第2順位 相馬孝一	にかほ市象潟町字家ノ後
第3順位 阿部玲子	にかほ市黒川
第4順位 横山スミ子	にかほ市平沢

委員及び補充員の任期：平成25年12月25日～平成29年12月24日まで



## 陳情

陳情の件名	陳情者の氏名	付託委員会	結果
「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」改正を求める意見書採択についての陳情	秋田県原爆被害者団体協議会 会長 小山春雄	総務	採択
日本国憲法をいかし、安定した雇用の実現を求める陳情	秋田県労働組合総連合 議長 佐々木章	産業建設	採択
医療・介護など社会保障の充実を国に求める意見書提出を要請する陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺淳	教育民生	採択
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村秀也	教育民生	採択
介護職員の処遇改善を求める陳情書	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村秀也	教育民生	採択
T P P 交渉に関する陳情	農民運動秋田県連合会 委員長 鈴木万喜夫	産業建設	採択

# 議案質疑・討論

## 決議・意見書

- 次の件について決議し、意見書については関係機関に提出しました。
- ・現行法（原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律）の改正を求める意見書
  - ・2014年度地方財政の確立に関する意見書
  - ・医療・介護など社会保障の充実を国に求める意見書
  - ・安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書
  - ・介護職員の処遇改善を求める意見書
  - ・日本国憲法をいかに安定した雇用の実現を求める意見書
  - ・TPP交渉に関する意見書

## 賛否一覧表

※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他は全会一致で可決しました。  
 ※佐藤文昭議長は採決に加わりません。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	
議員名	村上 次郎	竹内 睦夫	佐々木 弘志	伊東 温子	鈴木 敏男	宮崎 信一	飯尾 明芳	佐々木 正明	小川 正文	市川 雄次	菊地 衛	池田 甚一	奥山 収三	竹内 賢	加藤 照美	伊藤 知元	佐藤 元	齋藤 修市		
議案第104号	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
議案第105号	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第106号	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第107号	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情第8号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
議提第12号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○：賛成 ●：反対

## 討論

議案第104号  
 にかほ市簡易水道等事業  
 設置条例の一部を改正す  
 る条例制定について

### 反対討論

村上 次郎 議員

この議案は、消費税が来年4月から8%になるということでの使用料金の引き上げで、簡易水道料の値上げによるものです。この引き上げは、安倍政権の悪政で市の直接の施策でないということは明らかです。

消費税増税は社会保障に全部使うなどと言っていますが、本当にそうでしょうか。もしそうだとしたら、年金は60歳から支給します。75歳からの医療費は無料化ですなどと、社会保障はこれだけよくなるとの発表や提案があるはずですが、ところが厚生労働省は社会保障の削減計画をどんどん打ち出しています。

でも、高齢者が増えるし、医療費など社会保障にお金がかかるから消費税も仕方ないか、このように

思っている人もいます。確かに高齢化の進行に伴って社会保障費が伸びていくことは避けられません。

政府は消費税率のアップが嫌なら社会保障は我慢しなさい、社会保障を充実したければ消費税の増税は避けられませんよという理論です。

しかし、消費税に頼らない道があります。無駄遣いをやめて、応能負担、力のある人が負担をする、そういう原則に立った税制改革で財源を確保する。国民の所得を増やす経済改革で日本経済を健全な軌道に乗せ、税増収を図るといいます。

これからでも暮らしを壊す、経済も悪化させる消費税はストップさせてもらいたい、この議案はそのあらわれの一部ですので、先ほど言いましたように市の責任ではありませんが、賛成できません。



# 委員会審査報告

## 総務常任委員会

議案第97号にかほ市税条例の一部を改正する条例制定について、議案第98号にかほ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定については、地方税法の一部を改正する法律の公布に伴い条例の一部を改正するものであります。

委員会では、納税者にとのうな影響が出てくるのかについては、今回の改正では、徴収される税額の前半と後半の差を縮めるというもので税額が平準化されることになるとの答弁をいただいています。

議案第99号にかほ市諸収入金に係る督促手数料及び延滞金の徴収に関する条例の一部を改正する条例制定については、督促状に示す納期限についての整備及び地方税法の一部改正に伴う市税に係る延滞金の特例利率の引下げに準じ、延滞金の割合の特例措置を講じるための一部改正であります。

議案第101号にかほ市地域の元気臨時交付金基金条例制定については、国から交付される「地域の元気臨時交付金」の一部を積み立て、公共事業の財源に充てるため、条例を制定しようとするものです。いずれも全員の賛成で可決しています。

陳情第8号「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」改正を求める陳情については、願意としては充分理解できるが意見書は出すべきでないとの意見もありましたが賛成多数で採択されています。

次に要望書の中で「にかほ市職員労働組合」から出されてきました「2014年度、地方財政の確立に関する要請」については、委員会を取り上げ協議した結果意見書を出さずと言う事で決しています。

### 総務小委員会

議案第110号平成25年度にかほ市一般会計補正予算(第6号)中、当委員会に所管する部分について、光熱水費が補正予算全体で20項目以上あり電気料金値上げなどの影響はどのように見ているのかについては、今回の補正予算に計上した光熱水費は、1、573万円程であり、このうち電気料金の補正額は、1、263万円を計上、当初予算に比較し11・8%の増加との答弁でした。

全員の賛成で可決しました。  
総務常任委員長

加藤 照美



## 教育民生常任委員会

議案第100号にかほ市貸付金の返還債務の免除に関する条例制定について、これはにかほ市介護職員の初任者研修受講資金を貸し付ける規則において条件を満たせば返還を免除するというもので、免除の対象は高校生、だけか、また受講した人は何人か、返済は何年後に始まるのかの質問に対し、対象は高校生、専門学校生、大学生まで、受講者は13人で市内の高校生が6人、他は一般の人で、返済は5年後に始まると答弁がありました。

議案第104号にかほ市簡易水道等事業設置条例の一部を改正する条例制定について、これは消費税が5%から8%に上がる為の改正であります。各地区によって増額が異なるが増額はいくらかの質問に対し平成24年度をベースに平均22㎡で、象潟地区が月額29円(年348円)、上浜地区が月額34円(年408円)、仁賀保地区が月額48円(年578円)上がる事になるとの答弁がありました。

### 教育民生小委員会

議案第110号一般会計補正予算(第6号)中、教育民生常任委員会に関する項目は、全員の賛成で可決しました。主なる

内容として扶助費の灯油購入緊急助成費1、700万円の増額について、生活保護世帯・高齢者世帯・障害者世帯・一人親世帯・寡婦世帯、合計1、700世帯で1世帯10、000円で1、700万円の増額と説明がありました。

障害者福祉サービスの5、580万3千円の増額は、生活介護、施設入所支援の程度区分の認定変えによる単価の増額によるものです。

象潟B&G海洋センター管理費では、燃料費160万円の増額ですが、天然ガス利用のコージェネレーション設備導入前は10万〜11万リットル使用していたが、約30%節約出来、電気料も4分の1〜5分の1程度になった。との説明がありました。

教育民生常任委員長  
齋藤 修市



▲象潟B&G海洋センターで稼働中のコージェネレーションシステム

# 委員会審査報告

## 産業建設常任委員会

付託された8議案は、いずれも全員の賛成で可決されました。

議案の多くが、4月予定の消費税の引き上げに伴う条例の改正です。

議案第108号市営住宅条例の一部改正は、DVによる配偶者の緊急特例入所要件が拡大されて、婚姻関係にない同居者からの暴力等を受けている人についても特例入居を認める条例の改正です。

### 産業建設小委員会

議案第110号平成25年度にかほ市一般会計補正予算(第6号)中、産業建設部に関する項目は全員の賛成で可決されました。

補正予算の全般にわたって光熱水費が大きく増額されています。これは今年初めの東北電力の電気料金の値上げに伴うものです。

①青年就農給付金事業交付金  
当初予算では就農に取り組もうとする若者を4人と見込んでいましたが、さらに4〜5人の増加が見込まれるので三百万円を増額するものです。

②医療福祉の現場と企業をつなぐ人材の育成事業  
市内のある企業が県に申請し認められた事業です。これは医療現場で必要とする製薬を製造販売するために、医療関係機関に営業できる人材を育成しようとするものです。

③住宅リフォーム支援事業  
当初予算で2,000万円を計上していましたが、この事業を活用する人数が予想より多くなつたための増額です。これは消費税の引き上げ前の駆け込み需要によるものと考えられます。なお、この事業については、市は来年度も継続していくとされています。他方の県はまだ明確ではありませんが、継続の方向で検討しているとのことでした。

産業建設常任委員長

市川 雄次



▲写真は「市営住宅さくら」

## 雇用対策調査特別委員会

TDKによる再編で、協力工場への契約打ち切り等が進められ離職者が多く出ることになつたことを受け、議会は2012年(平成24年)12月に「雇用対策調査特別委員会」を8人の議員で設置しました。2013年12月の特別委員会廃止までの主な経過は次のとおりです。

この間他団体との懇談を含め11回の会議を持ち、「市民の税金滞納状況」「雇用に関するアンケート」「行政としての支援策」「ハローワークの求人、求職、雇用状況」などについて調査をしました。

6月には、議長が市長とともにTDK本社を訪問、工場の存続、新規事業や研究部門等のかほ市内での展開などについて要望しています。また、全議員で市内企業の視察もしました。商工会との懇談では、「高齢化や後継者不足による廃業がすすんでいる」「1人親方への支援を」などの実情・要望が出されました。

工業振興会との懇談では、「コスト競争の激しさ」「消費税増税による負担が心配」などの実情が出され、「現在ある企業に、必要なときにすぐ使えるような助成を」などの要望も出

されました。

特別委員会では、調査、要望などを検討し、秋田県への「要望書」をまとめました。

要望書では、県市の取り組みを評価しつつ、さらに「雇用の場の維持拡大への支援」「既存事業所への設備、社員教育、営業等への支援」「臨時雇用事業の維持、拡大」「6次産業化への支援」「学校・生活サポートの再創設」「住宅リフォームの観光施設、宿泊、商店等への拡大」などを上げています。これまで協力いただいた方々への御礼を申し上げ報告とします。

雇用対策調査特別委員会

委員長 村上 次郎



▲市内企業訪問 (平成25年7月実施)

※ 議案第108号市営住宅条例の一部改正は、DVによる配偶者の緊急特例入所要件が拡大されて、婚姻関係にない同居者からの暴力等を受けている人についても特例入居を認める条例の改正です。

# 「雇用創出、確保の対策を求め る要望」を秋田県知事に提出

1月17日、にかほ市議会では雇用対策調査特別委員会による報告を受け、秋田県知事に対し、7項目について要望書を提出しました。

市の雇用環境の悪化は、これまで例を見ない厳しい局面を迎えており、地域経済の根幹にかかわるものです。

今後も、地域産業の活性化と雇用の場の確保に向けて、積極



▲県に対し要望書を提出  
(左から、伊藤 知副議長、橋口昌道秋田県副知事、佐藤文昭議長、村上次郎雇用対策調査特別委員長)

的に活動をしてまいります。

## 要望7項目

- 一、企業誘致、雇用の場の維持拡大のための支援
- 二、既存事業所への設備投資、社員教育、営業等への支援
- 三、臨時雇用事業の維持、拡大と雇用先を各種団体等への拡充
- 四、農林漁業への支援と後継者育成への対策



▲要望内容とかほ市の現状について説明をしました。

- 五、6次産業化への支援拡大
- 六、学校・生活サポート事業の再創設
- 七、住宅リフォーム制度の継続と観光施設、宿泊、商店などへの制度の充実



## 茨城県大洗町

### 議会との交流

― 地域振興に  
ついて話し合う ―

1月27～28日にかけて、茨城県大洗町議会議員8名が当市議会を訪れました。

これは、昨年7月に東日本大震災からの復興に取り組む大洗町と、支援する筑波銀行、そして当市と当市の指定金融機関である北都銀行の4者地域振興協定を締結した縁で実現したものです。

27日には、フェライト子ども



▲1月28日 雪中行進に参加。

科学館、白瀬南極探検隊記念館を視察。また、今後の交流などについて意見交換を行いました。翌28日には雪中行進に参加し、強風と寒さの中、約2・5kmを行進しました。

4者は今後、災害時支援や観光振興、企業誘致など具体的な交流を計画しています。



# 議会報告会 — 11月開催報告 —



120名の市民が参加、

ご意見・要望等は延べ82件

にかほ市議会では、11月12日から22日にかけて、本年2回目となる議会報告会を市内12会場で開催し、参加者120名、延べ82件のご意見、要望等が出されました。各会場には、議員が直接出向き、9月議会について報告を行うとともに、災害への対応、観光のあり方やコミュニティバスについてなど、会場で出されたご意見、要望などについて、参加いただいた皆様と一緒に議論いたしました。今後も、より一層、参加しやすい環境づくりと工夫を重ね、市民の皆様との意見交換の機会をつくらせてまいりますので、多数のご参加をお待ちしております。

## ■開催会場

- 仁賀保地域：芹田自治会館、畑自治会館、上小国自治会館、水沢自治会館、三森自治会館
- 金浦地域：勤労青少年ホーム、大竹ふくじゅ館
- 象潟地域：関生活改善センター、中橋自彊館、小滝奈曾会館、汐見会館、水岡自治会館

## 各会場で出された

### ご意見・要望

**Q** 畑、伊勢居地間の市道に防風柵を設置できませんか。

**会場での議員答弁** 会長会でも市に要望をしているということですので、優先順位はありますが引き続き要望をしてほしい。  
**市の回答** 整備計画予定箇所ですが、設置年度はまだ決まっておられません。

**Q** 用事で市役所に出向いたら3庁舎をたらい回しにされた。庁舎統合を含め、効率化をしてみたい。

**会場での議員答弁** 議会でも常に質問等を行っています。事実関係を市に問い合わせいたします。庁舎統合については今のところ話がありません。

**市の回答** 市長部局を統合し、一つの庁舎に配置することは、指揮監督や事務の効率性、危機管理上の面から理想の組織体制といえます。時期を見計って市長部局の統合に移行したいと考えますが、そのためには、これまでの窓口業務や相談体制をどのように整備するかなど課題を解決する必要があることをご理解願います。

**Q** 象潟前川線は現存道路への接続を含め、別ルートで工事できないのか。合併協定事項ではあるが、現在の状況から本場に必要なのか。

**会場での議員答弁** 現存道路への接続を含め、日沿道の開通と合わせて検討しています。

**市の回答** 現在の国道、日沿道、前川象潟2号線の三本の道路が互いに補完することにより、市内の交通ネットワークが形成され、市民の安全・安心につながります。今後も天然記念物「象潟」の景観や遺跡調査との整合性を図りながら整備する方針です。

**Q** 三森、芹田を通る羽後交通バスは家並みから遠い場所であり苦勞しています。コミュニティバスの運行を検討できませんか。

**市の回答** コミュニティバスは、原則として廃止バス路線の代替輸送として運輸局から許可を得て運行しております。国道7号線沿線地域や3地区（象潟、金浦、仁賀保）の町内の運行経路は、羽後交通が乗合運行許可を得ている部分となっておりますので、羽後交通に「芹田・三森の町内」を通る運行ルートの検討を要望いたします。

**Q** 白雪橋の三森側が自然に崩れています。今後どう対処するのですか。

**会場での議員答弁** 現場は確認していますので、今後の計画について市に問い合わせ報告いたします。

**市の回答** 管理者である秋田県から「当該区間の漁港海岸に設置された護岸は、経年劣化による老朽化が著しいことから、平成24年3月に老朽化対策計画を策定し、現在、左岸側の芹田護岸の対策工事を行っております。



# 議 会 報 告 会

す。要望の損傷箇所を含む浜田護岸についても、計画に基づき継続事業による対策を講じることとし、河川水位の低下が見込まれる本年度の冬期間に工事着手し早期に機能回復を図ります。」との回答があり、現在家屋調査等を実施しております。



▲護岸の亀裂箇所

Q 投票所再編に伴うバス運行は、停車場まで距離があり利用しにくいので、各家々の近くを周回できませんか。

市の回答 バスの運行は、基本的に旧投票所から新投票所としており、各家々を周回することは、ルートが複雑になり安全な運行にも支障を来す恐れがあるので実施は困難であります。

Q 関地区（農業集落排水処理場施設付近）の防災等の放送について、聞こえにくいので改善することはできませんか。

会場での議員答弁 気象条件や

家屋の構造上の問題かもしれない。市に問い合わせをして報告いたします。

市の回答 聞こえにくいとの連絡をいただき、調査の上調整を行っております。音は到達しているとの結果ですが、気象条件や家屋の高気密化などで聞こえないことがあるようです。

そこで、26年度以降個別受信機設置を計画しております。どうしても聞こえにくい場合は、個別受信機による情報受け入れをお願いいたします。

ただし、負担金をいただく計画としておりますので、要領が整い次第、広報等でお知らせいたします。

Q コミュニティバス時間について、電車時間に間に合わないのでは運行時間を改善してほしい。（小滝地区）

市の回答 朝、夕のバス運行時間を小中学校の通学時間に合わせ運行しているため、日中の電車時間（合わない）にも影響しています。電車時間に合わせるとなると、学校側との協議が必要となりますが、授業等の時間変更は難しい状況に思われます。バス1台での運行をいたしますのでご理解をお願いいたします。

Q 除雪について、カーブやT字路、公共施設等の近辺には配慮してほしい。

また、小路に入ると除雪が思わしくないので、消雪剤散布等で何とか対応できませんか。

市の回答 今年度の除雪についてもきめ細かに対応します。除雪パトロールを実施しています。雪の堆積により見通しが悪い箇所がありましたら自治会長を通し、お知らせください。確認し対応いたします。

また、小路の場合、機械の能力により深くまで除雪出来ない場合がありますのでご理解をお願いいたします。

Q 夜間の地震、津波などは逃げるのができない。象潟海岸の堤防を嵩上げしてもらいたい。

市の回答 秋田県沿岸津波対策検討会において、津波被害防止のため堤防高さの検討を行いました。

最大級の津波と数十年から数百年に一度の津波の二種類で行い、その結果、堤防高さを数十年前から数百年に一度の津波から守ることを基準としました。

これは、高潮被害を防止するために現在計画されている堤防高さを越えないとの検討結果となり、その高さは、5・5mです。既存の防堤防の未改修部分について、今後とも整備に向けて要望いたします。

Q 雨が降ると家屋前に水が溜まり、車庫に水が入ってくる。中橋地区の排水対策をしてもらいたい。

会場での議員答弁 市に要望しているということですが、過去に市で検討した方法以外に解決方法等が無いのかも含め、市に

問い合わせいたします。

市の回答 同箇所の排水対策については、過去に国道山側の排水断面の改良等を行いました。が、抜本的な解決には至っておりません。排水経路の変更や分水などにより雨水が集中しないような対策が出来ないか検討を行っておりますが、地形上難しいのが現状です。

国土交通省と相談しながら国道横断暗渠の改善を要望します。

Q 大竹象潟線（向山と大竹に抜ける道路）の整備はどうなっていますか。

会場での議員答弁 観光面でも大事な道路である。優先順位もあり工事には至っておりませんが、産業建設常任委員会では、前川象潟線よりも大竹象潟線の開通が先ではないかとの話もあります。

市の回答 道路改良を行う路線として位置づけられておりますが、優先順位は象潟前川2号線、平沢小出2号線の次の路線として計画されることとなります。道路改良については、多額の事業費を要するため、早期の着工にはなりませんのでご理解をお願いいたします。

※全てのご意見を掲載できませんでしたが、議会事務局にて全てのご意見、ご提案をご覧いただけます。

# 議会活動

## ◇議会関係行事

年月日	行 事	場 所 等
H25. 11. 7	羽越本線高速促進大会	東京都
11. 8	日本海沿岸東北自動車道沿線市町村建設促進大会	仙台市
11.11	各期同盟会要望活動	宮城県
11.12	にかほ市議会議員研修会	宮城県 滝川市
11.12	会派代表者会議	宮城県 滝川市
11.12	大分県杵築市議会が行政視察訪問	宮城県 滝川市
11.13	議会報告会	宮城県 滝川市
11.14	議会報告会	宮城県 滝川市
11.15	秋田県市議会議長会議員研修会	秋田県 滝川市
11.16	議会報告会	宮城県 滝川市
11.18	議会報告会	宮城県 滝川市
11.19	全員協議会	宮城県 滝川市
11.22	会派代表者会議	宮城県 滝川市
11.23	議会報告会	宮城県 滝川市
11.26	雇用対策調査特別委員会 スポーツ開催実行委員会との意見交換会 産業建設常任委員会協議会	宮城県 滝川市
12. 2	議会運営委員会	宮城県 滝川市
12. 9	第6回定例会（～20日）	宮城県 滝川市
12.10	会派代表者会議	宮城県 滝川市
12.16	会派代表者会議	宮城県 滝川市
12.17	全員協議会	宮城県 滝川市
12.18	雇用対策調査特別委員会	宮城県 滝川市
12.18	雇用対策調査特別委員会	宮城県 滝川市
12.20	広報広聴委員会	宮城県 滝川市
1.16	議会運営委員会	宮城県 滝川市
1.17	広報広聴委員会	宮城県 滝川市
1.17	雇用対策調査特別委員会報告による秋田県知事への要望書提出	秋田県 滝川市
1.23	第1回臨時会	秋田県 滝川市
1.27	茨城県大洗町議会との交流（～28日）	秋田県 滝川市
1.29	由利本荘医師会・由利本荘市議会との懇談会	秋田県 滝川市

## 市民のみなさん、ぜひ議会傍聴に足をお運びください

### 傍聴席から



釜ヶ台  
阿部 静夫

この度、私は12月定例議会の一般質問を傍聴しました。毎回のように議会傍聴に伺っているわけではありませんが、今回は特に市長選挙後ということもあり足を運んでみました。一部地域に偏った市政運営など、さまざまな行政に対する批判が選挙戦によりとりたたき、そのことを今回の一般質問では多くの議員が質問をしていました。行政当局と議員の間で活発に行われた議論により、政治に疎い私でもウワサや報道だけではわからぬ事を知り得る事ができ、わざわざ足を運んだ甲斐があったと思っております。市民の皆さんも、行政や議会に関心を持ち傍聴してみたいかがでしようか。

日本は景況感が12カ月連続で改善し、6年ぶりの高水準となつていると聞きます。しかし、当市においては世界に誇れる企業の工場が次々と解体されてるのを目のあたりにして、まだまだ景気回復を実感できる状況ではないように思います。以前は、企業城下町と言われ、人口規模では考えられない公共事業などの恩恵を受けていました。が、近年では市の予算も、税収も減縮しています。更に進むであろう少子高齢化の波など、避

けては通れない課題は山積みしていますので、横山市長を筆頭に市職員が力を合わせ、この危機を乗り越えていただきたいし、また議員の皆様方におかれましては行政の重要な事柄を審議し、意思決定し監視するとう大切な職務を全うしてほしいと願っております。

### 編集後記

平成26年、新たな年が始まりました。本年は我々市議会議員の改選の年であります。

議会では議会基本条例に基づいて市民と意見交換会を開いて参りました。市民の皆様が活発な議論の基礎になります。市民の願いを形にするべくより強い議会を目指す年にしていきたいましよう。本年が市民皆様にとって良い年になることを祈念致します。

編集委員 伊藤 知

### 「議会会議録」をホームページと各庁舎で公開しています。

市議会の会議録を市のホームページと象潟庁舎市民ホール、金浦庁舎玄関ロビー、仁賀保庁舎市民サービスセンターで公開しています。お気軽にご覧ください。

発行責任者 にかほ市議会にかほ市議会広報広聴委員会

郵便番号 〇一八〇一九二  
秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田一

TEL 〇一八四一四三二七五一一  
FAX 〇一八四一四三二七五一一

発行部数 一〇、〇〇〇部